

第84回定期大会はじまる！

～100万\$の絆！浪漫の街・箱館で熱き夢を～



渡島地方本部ニュース

北海道函館大会



8月30日、函館市の市民体育館（メイン会場）と市民会館（サブ会場）に全国から4,500人の自治労の仲間が結集し、第84回定期大会が始まりました。

今年は中間年ということで日程は、30日、31日の2日間。開催にあたり、山上北海道実行委員長から歓迎のあいさつが述べられ、引き続き徳永中央本部委員長及び古賀連合会長をはじめとする各級議会議員及び自治体関係者の来賓のあいさつのおと議事に入りました。氏家書記長から一般経過報告書と1年間の運動の総括、各報告に関する質疑討論および第1号議案「当面の闘争方針（案）～第5号議案「私傷病休業共済規定の廃止について」までの提案が行われ大会初日が終了しました。

【発行】

自治労渡島地方本部
執行委員長 川村 哲也
〒041-0806
函館市美原 4-6-16
TEL 0138-34-2357
FAX 0138-34-2358

函館大会の成功を！

自治労北海道本部
執行委員長 山上 潔

北海道における自治労本部定期大会は、2001年の旭川大会以来11年ぶりの開催となります。開催地となる函館市は、戊辰戦争の最後の戦場となった五稜郭や世界三大夜景のひとつといわれる、函館山からの夜景など観光名所が多いところです。朝イカやウニなどの海産物など食べ物も大変美味しく、観光客に人気のある街でございます。大会開催中の朝夕や大会前後を、活用いただき、良い思い出づくりとともに地元経済の活性化にご協力いただければ大変うれしく思います。最後に第84回自治労定期大会の圧倒的成功に向けて、実行委員会を中心最後まで精一杯努力してまいりますので、参加者皆様のご協力を心からお願いし、歓迎のあいさつとします。



「あいはらくみこ」の必勝にむけて

徳永秀昭

中央執行委員長

公務員制度改革臨時特例法案だけを成立させ、関連法案を放置し続けてきた状況は労働者にとって看過し難い行動であり、政府、民主党の誠意ある態度を求める。消防職員の協約締結権・団結権の問題は極めて遺憾である。関連4法案の今国会での成立は極めて困難であるが臨時国会での法案審議を含め最後まであきらめない努力をする。

○非正規職員
三位一体改革以降官制ワーキングプアが生まれた。地方自治法改正案の修正案の前進を目指す。

○脱原発社会の実現
脱原発を望む声が全国に広がって

だる。全国各地から住民を巻き込んで、全国を回って行くことが重要。

○東日本大震災からの復興
引き続き被災県本部と連携して復興に向けた取り組みを継続していく。質の高いサービスを提供するたためにも、人員確保が不可欠であり抜本的対策が必要。

○政治状況について
3年前国民が切望して政権交代を成し遂げたが、今の民主党は残念でならない。公務員の労働基本権を否定している社会保障制度の持続と機能強化。また、その財源確保のためにも民主党の再生を図るしか選択肢はない。解散総選挙も迫り厳しい状況だが、来年の参議院選挙に「あいはらくみこ」の必勝に向けてお願い申し上げます。

来賓あいさつ

連合 古賀伸明 会長



連合として、震災復興に向けて、被災3県と意見交換しながらニーズに応じていくことが必要。また、「働くこと

を軸とする安心社会」の実現を目指し運動を展開し、新しい経済や社会を構築する必要がある。さらに、労働運動をどう社会化していくかが問われる。良い社会・良い職場をつくるために、地域社会に根づいた運動を展開し、共にがんばっていききたい。私たち一人一人が政治システムに参画していく必要がある。参議院議員「あいはらくみこ」の必勝を願う。

現地の実行委員会から



↑ 大会参加者へ会場案内する実行委員



4300部を超える大会資料を袋詰めする実行委員

現地実行委員大奮闘！



30℃を超える記録的猛暑の中、早朝から駐車場の整備にあたる実行委員

現地の実行委員会では前日から資料の袋詰め、駅や空港でのお出迎え、また函館市内の案内等、大会参加者への各種対応に奔走しております。大会初日の今日も30℃を超える炎天下の中、早朝から駐車場での車の対応にあたる実行委員会の仲間たち。多くの裏方の協力があったこの大会が成り立っております。実行委員会の皆さん、お疲れ様です。あと1日、頑張ってください。大会を成功させましょう。

今大会に駆けつけて頂いた来賓の皆さん



民主党 興石 幹事長



社民党 又市 副代表



高原 北海道 副知事



工藤 函館 市長